令和5度　第3学年　社会科　歴史的分野　年間指導計画

担当:山根亜加利

学期	項目 （◎ 学習課題）	学習内容・ 学習活動	指導上の留意点	評価規準の具体例 ①＝知識・技能　②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
第2部　歴史の大きな流れと時代の移り変わり				
第5章　近代(後半)　二度の世界大戦と日本 ■章の問い■　「近代化」が進展した日本で，世論が求めたものは何か。		**＜第2部第5章のねらい＞** ①第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。 ①経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。 ②戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ②近代後半の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し表現させる。 ③近代後半の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。		**＜第2部第5章の評価規準＞** ①第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ①経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 ②戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ②近代後半の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③近代後半の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第1節　第一次世界大戦と民族独立の動き ◇節の問い◇ 第一次世界大戦は世界にどのような変化をもたらしたのだろうか。		＜「第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現」を扱うこの単元のねらい＞ 〇ヨーロッパ諸国間の対立や民族問題を背景として第一次世界大戦が起こったことに気付かせるとともに，日本の参戦，ロシア革命なども取りあげて，世界の動きと日本との関連をふまえて，大戦がその後の国際情勢および日本に大きな影響を及ぼしたことに気付かせる。 〇国際連盟の成立，中国や朝鮮，インドにおける民族運動の高まり，軍縮条約の締結を取り上げ，日本がどのように対応したかを理解させる。		**＜「第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現」を扱うこの単元の評価規準＞** ①第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動きをもとに，第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②世界の動きと日本の関係に着目して，第一次世界大戦による世界の変化や影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③第一次世界大戦前後の国際情勢について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
3年1学期	**1 第一次世界大戦の始まりと総力戦** ◎第一次世界大戦は，どのような特徴を持った戦争だったのだろうか。	第一次世界大戦は，どのようにして起こり，どのような特徴をもつ戦争だったのか，ヨーロッパの国際関係を図でまとめたり，写真資料などから読み取ったりする。	・風刺絵をもとにバルカン半島が「ヨーロッパの火薬庫」とよばれていたことに気付かせ，登場している国々を関係図などにまとめさせる。 ・第一次世界大戦がそれまでの戦争とは全く異なる戦争であったこと，大量殺戮兵器や化学兵器が登場したことに気付かせる。	①戦争に参加した国々が多くの植民地をもっていたことをふまえて，第一次世界大戦が世界規模の総力戦となった理由について理解している。 ①それまでの戦争にはみられなかった第一次世界大戦の特徴を，写真資料などから適切に読み取り，理解している。 ①第一次世界大戦の背景となる，バルカン半島をめぐる国々の対立がどのようなものだったか，図にまとめるなどして理解している。 ②総力戦によって，列強各国の政府が女性や植民地の人々にどのようなことを行ったか（女性の権利を拡大する政策）をふまえて，その影響（女性の地位の向上，戦後の自治が約束されたこと）を考察し，適切に表現している。
3年1学期	**2 第一次世界大戦の拡大と日本** ◎日本は，第一次世界大戦やロシア革命にどのように関わったのだろうか。	日本は，第一次世界大戦やロシア革命にどのようにかかわったのか，資料などから読み取る。	・第一次世界大戦の勃発により，日本は日英同盟を利用してどのような行動がとれるのか，また，日英同盟を結んでいたイギリスが，日本のどのような行動を警戒していたのかを予想させる。	①第一次世界大戦中に日本が中国に示した二十一か条の要求の中で，日本が実現させた要求の内容をふまえて，中国での反日運動が本格的に始まったり，欧米列強が日本への不信感を高めたりしたことを理解している。 ②日本が第一次世界大戦に参戦した理由，シベリアに出兵した理由について，イギリスとの関係やロシア革命の影響などをもとに考察し，適切に表現している。
3年1学期	**3 第一次世界大戦後の欧米諸国** ◎第一次世界大戦は，欧米諸国にどのような変化をもたらしたのだろうか。	第一次世界大戦を経て，国際関係はどのように変化したのか，欧米諸国で起こったことや民主主義の高まりなどに着目して，具体的な動きを読み取る。	・民族運動の高まりや国際平和への努力に気付かせるとともに，どのような限界があったかについても考えさせる。 ・資料をもとに，国際連盟の常任理事国になった日本が，国際的な場で初めて人種差別撤廃を提案したことに気付かせる。	①ベルサイユ条約は戦勝国と敗戦国にとってどのような内容だったか，それぞれの植民地の動きにもふれながら，表などを用いて適切にまとめ，理解している。 ②第一次世界大戦後，欧米諸国の政治にはどのような変化があったか，具体的な例をふまえて考察し，適切に表現している。 ②国際連盟が強い力をもてなかった理由について，アメリカの不参加などをふまえて考察し，適切に表現している。
3年1学期	**4 アジアの民族自決と国際協調** ◎第一次世界大戦後，アジアではどのような運動が起こり，日本や欧米諸国はどのように対応したのだろうか。 ◇節の問いを振り返ろう◇ 第一次世界大戦を経験した結果，戦争に関わった国々の社会にはどのような変化があったか，説明してみよう。	第一次世界大戦後，アジアではどのような運動が起こり，日本や欧米諸国はどのように対応したのか，朝鮮・中国・インドに着目して，具体的な動きを読み取る。 ◇戦勝国と敗戦国で起こった変化，それぞれの植民地における異なる変化に着目して考えさせる。	・年表中に示されているワシントン会議やロンドン海軍軍縮会議の結果を見て，国際協調が進められる一方で，海軍力においてイギリスやアメリカが優位な秩序が決められたことに気付かせる。	①朝鮮・中国・インドで起こった運動の内容を表に整理し，それぞれの要求などを適切にまとめ，理解している。 ①パリ講和会議（ベルサイユ条約）やワシントン会議で中国に関して決められたことについて，資料や文章から読み取って理解している。 ②1919年に朝鮮・中国・インドで民族運動が起こった背景について，日本やイギリスの動きをふまえて考察し，適切に表現している。 ②ワシントン会議の結果に日本の軍部が批判的だった理由について，国際協調の具体的な内容をもとに考察し，適切に表現している。
第2節　高まるデモクラシーの意識 ◇節の問い◇　なぜ，第一次世界大戦後，民主主義的な考え方が広まったのだろうか。		＜「第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現」を扱うこの単元のねらい＞ 〇国民の政治的自覚が高まり，本格的な政党内閣による政党政治が展開したこと，普通選挙制が実現したこと，米騒動をはじめ，労働運動，農民運動，社会主義運動などの社会運動が幅広く行われるようになったこと，女性の社会的進出が進んだことなどに気付かせる。 〇大都市の発達や都市に住む人々の生活様式や意識の変化，新聞・雑誌などの普及やラジオ放送の開始などを取り上げ，文化の大衆化が進んだことを理解させる。		**＜「第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現」を扱うこの単元の評価規準＞** ①国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化をもとに，第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②世界の動きとわが国の関係に着目して，第一次世界大戦による日本の社会の変化や影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

３年１学期	**タイムトラベル⑩** **大正～昭和初期を眺めてみよう** 1920～30年代ごろのある場面	大正時代から昭和初期のころに産業が発達してきたある地方都市の駅前のようすをえがいた想像図を見て，明治時代と比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があったのかを読み取り，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。	・「次の場面を探してみよう！」の課題をもとに，明治時代と比べた政治や経済，社会，文化面の変化に着目させ，そのような変化が生まれた理由を考えさせる。 ・「銀行に集まった人，工場で働く人々は，大勢で何を求めているのか」「洋服を着ている女性はいつ頃から増えて始めたのか」「現在まで変わらずに続いているものは何か」などの追究課題が考えられる。	①大正時代から昭和初期と明治時代の駅周辺のようすの違いについて，建築物や交通機関，人々の役割や政治参加のようすなどから適切なことがらを読み取っている。 ②男子普通選挙の実現，工業の発達と労働運動の始まり，交通機関の整備，生活習慣の欧米化など，大衆とよばれる人々が現れるようになったことなどについて，明治時代との共通点や相違点を考察し，写真資料などをもとに適切に表現している。 【章の学習を振り返ろう】(103時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の場面で ①女性と社会のかかわりの変化を示している場面を適切に読み取っている。 ②想像図にえがかれているさまざまなことがらとともに，近代後半の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。
３年１学期	**１ 護憲運動と政党内閣の成立** **◎第一次世界大戦の影響によって，日本の政治や経済はどのように変化したのだろうか。**	第一次世界大戦によって，日本の政治や経済はどのように変化したのか，資料などから読み取ったり考えたりする。	・民主主義を広める動きが世界中に拡大し，日本でも護憲運度によって初めて内閣が倒されたり，その後，初めての本格的な政党内閣が生まれたりしたことに気付かせる。 ・日本では「民主主義」ではなく「民本主義」という唱え方がなされた理由を考えさせる。	①原内閣の成立にはどのような意味や意義があったのか，それまでの内閣との成立と異なる点に着目し，初めての本格的な政党内閣であったことなどを適切に読み取り，理解している。 ①第一次世界大戦が始まってから日本経済が急成長した理由（大戦景気）とその影響（物価の急上昇）を理解している。 ②護憲運動とはどのような運動か，自由民権運動との違いに着目しながら考察し，適切に表現している。
３年１学期	**２ 社会運動の高まりと普通選挙の実現** **◎大正時代に民主主義を求める社会運動はどのような形で展開したのだろうか。**	大正時代に，デモクラシーはどのような形で展開したのか，選挙権の拡大やさまざまな社会運動に着目し，資料などをもとにまとめる。	・男子普通選挙が実現した意義について，有権者の増加を示す資料などをもとに考えさせる。 ・普通選挙法とともに治安維持法が出され，すぐに改正された内容を確認させて，どのようなねらいが政府にあったのかを考えさせる。	①大正デモクラシーという言葉が，当時の具体的な運動や政党政治の実現などをもとにして，どのような風潮を意味するのかを理解している。 ②護憲運動，女性，労働者，差別された人々のそれぞれの立場から，大正デモクラシーの時期に展開された社会運動について考察し，どのようなことをなぜ求めていたのか，適切に表現している。
３年１学期	**３ 近代都市に現れた大衆文化** **◎大正から昭和初期にかけて，人々の生活や文化はどのように変化したのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **デモクラシーの風潮は，日本の政治や外交，文化にどのような影響を与えたか，説明してみよう。** **歴史を探ろう** 発展する産業都市　大阪・神戸	大正時代から昭和初期にかけて，人々の生活や文化はどのように変化したのか，社会の変化や文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇軍縮，国際協調，政党政治，大衆文化などのキーワードをもとに考えさせる。	・現在の生活に通じる文化の事例に気付かせる。 ・多くの人々が文化や芸術にふれる機会が増えることにつながった社会の変化に着目させる。	①大正から昭和初期の時期に広まり，現代につながる欧米の文化や習慣について，「衣・食・住・子ども・その他」に分けて，表を用いて適切にまとめ，理解している。 ②都市を中心に大衆文化が広まった理由について，新聞の発行部数が増え，多くの雑誌が出版されてきたことや，学校教育や大正デモクラシーの影響などをふまえて考察し，適切に表現している。
３年１学期	**多面的・多角的に考えてみよう** 「母性保護論争」を考察する	女性の社会進出に際して，出産や育児の負担をどのように解決するか，男女の役割や国からの保護，女性や社会のあり方についてのさまざまな主張に対する自分なりの意見を発表する。	・「母性保護論争」における与謝野晶子，平塚らいてう，山川菊栄の主張を読んで，共感できる点，共感できない点，共感した点を実現するための課題となる点をまとめさせ，どの人物のどのような意見に賛成できるか，大正時代以後の社会の状況を民法の内容などをふまえ，課題として考えたことを明確にして，理由を説明させる。	①大正末期から女性の社会進出が進む一方で，出産や育児，家事での女性の負担が大きかったことを資料から読み取り，このような女性を国が経済的に保護すべきかどうかについての論争で，女性が自立・独立できる社会のあり方についてさまざまな主張があり，それぞれがどのような根拠にもとづいていたか，資料をもとに理解している。 ②育児や家事における男女の役割，女性の権利と義務，国の役割などの観点から，当時の状況の中で課題となっていたことを考察し，その解決の方法について当時の女性活動家の主張から選択したり，新たな主張を考えたりし，根拠を明確にして適切に説明している。
第３節　戦争に向かう世論 **◇節の問い◇　世界恐慌後，日本や世界の動きはどのように変化したのだろうか。**		**＜「第二次世界大戦と人類への惨禍」を扱うこの単元のねらい＞** ○世界恐慌に対する各国の対策と対立の深刻化，日本における経済の混乱と社会不安の広がりを取りあげ，政党政治が行きづまりをみせ，軍部が台頭して大陸での勢力を拡張したこと，国際連盟を脱退した日本がドイツと日独防共協定を結んでアメリカやイギリスと対立を深めたこと，中国との戦争が長期化した経緯を理解させる。		**＜「第二次世界大戦と人類への惨禍」を扱うこの単元の評価規準＞** ①経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦が始まるまでの日本の政治・外交の動きなどをもとに，軍部の台頭から戦争までの経過を理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して，二度目の世界大戦が起こった背景を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③経済の世界的な混乱と社会問題の発生などについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
３年１学期	**１ 世界恐慌と行き詰まる日本** **◎アメリカから始まった世界恐慌は，日本へどのような影響を与えたのだろうか。**	アメリカから始まった世界恐慌は世界や日本へどのような影響を与えたのか，資料などから読み取ったり考えたりする。	・景気がよいときと悪いときではどのような違いがあるか，予想を立てさせ，教科書の本文から実際にあった出来事を発表させる。 ・不景気の中で財閥の力が強くなった理由を考えさせる。	①不景気の影響から日本で起こった出来事を読み取り，都市と農村に分けて適切にまとめ，理解している。 ②アメリカの不景気が世界に広まった理由，不景気の影響が日本の農村で特に大きかった理由（アメリカへの生糸の輸出が激減し，養蚕業が衰退した）を考察し，それぞれ根拠を示しながら適切に表現している。
３年１学期	**２ 欧米諸国が選択した道** **◎世界恐慌に対して，欧米諸国はどのように対応したのだろうか。**	世界恐慌に対して，欧米諸国はどのように対応したのか，資料などから読み取り，政策の違いや共通点をまとめる。	・計画経済と自由経済の違い，ブロック経済のしくみ，ファシズムの意味などを説明できるようにする。 ・次時への動機づけとして，日本経済の立て直しにはどのような方法があるか，当時の内閣総理大臣に助言するつもりで自分の考えを発表させる。	①アメリカ・イギリス・フランス・ソ連が行った経済政策を読み取り，ブロック経済など共通している内容やその目的などを，表などで適切にまとめ，理解している。 ②ドイツでファシズムが台頭した理由を考察し，国民からの支持が得られたことなどにふれながら，適切に表現している。
３年１学期	**３ 強まる軍部と衰える政党** **◎満州事変以後，政党政治はどのように変化したのだろうか。**	満州事変以後，政党政治はどのように変化したのか，軍部が台頭していく経緯に着目して読み取ってまとめる。	・政党政治が途絶えた後，軍事費の割合が増えたことを資料から読み取らせ，軍部が主導権をにぎるようになって，景気が回復していたことも，軍部が国民の支持を集める理由になっていることに気付かせる。	①五・一五事件と二・二六事件による影響を読み取り，政党政治が変化した様子を示した図も活用して，軍部が力を強めていった経緯を適切にまとめ，理解している。 ②人々が軍部を支持するようになった理由を考察し，「政党政治」「不景気」「満州」という言葉を用いて適切に表現している。

３年１学期	**4 日中戦争と総力戦に向かう国民生活** **◎日本は戦争を進めるためにどのような政策を行ったのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **世界恐慌に各国はどのように対処し，その中で日本はどのような動きをしたのか，説明してみよう。** **歴史を探ろう** 長野県から見る満州移民	日中戦争はどのようにして始まり，日本は戦争を進めるためにどのような政策を行ったのか，資料などから読み取ってまとめる。 ◇日本，ドイツ，イタリアの共通点やイギリス，フランス，アメリカの共通点に着目し，考えさせる。	・戦争が長期化し，総力戦に向かう中で，国民生活がどのように変化したか，新聞などのメディアや学校はどのような役割を果たしていたのか，などの点に注目させる。	①戦争を進めるために，政府が国民に対して行った生活に関する政策を読み取り，それぞれのねらいについても適切にまとめ，理解している。 ①日本と中国は，ドイツ・アメリカ・イギリス・ソ連とどのような関係であったかを，関係図を用いて適切にまとめ，理解している。 ①日中戦争の始まりによって日本と中国の国内で起こった動きを文章から読み取り，理解している。 ②中国との戦争が長期化した理由を考察し，中国国民党（国民政府）と中国共産党が抗日という目的で一つにまとまったことや，国民政府がアメリカやイギリスなどの支援を受けて徹底抗戦を続けたことなどにふれながら，適切に表現している。
第4節　第二次世界大戦の惨禍 **◇節の問い◇　なぜ日本は，戦争を拡大していったのだろうか。また，その結果はどのようなものだったのだろうか。**		＜「第二次世界大戦と人類への惨禍」を扱うこの単元のねらい＞ 〇日本がドイツ，イタリアと三国同盟を結び，アメリカ，イギリス，そして終戦直前に参戦したソビエト連邦などとの大戦になったこと，日本が多くの国々，とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたこと，各地への空襲，沖縄戦，広島・長崎への原子爆弾の投下など，日本の国民も大きな戦禍を受けたことなどから，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させ，国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気付かせる。 〇戦時体制下で国民の生活がどう変わったかについて，身近な地域の事例を取り上げ，平和な生活を築くことの大切さに気付かせる。	**＜「第二次世界大戦と人類への惨禍」を扱うこの単元の評価規準＞** ①第二次世界大戦中の日本の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，戦時下の国民の生活などをもとに，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②世界の動きと日本との関連に着目して，二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③第二次世界大戦と人類への惨禍について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
３年１学期	**タイムトラベル⑪** **第二次世界大戦期を眺めてみよう** 1941年ごろのある場面	第二次世界大戦の時代の阪神地域のある都市のようすをえがいた想像図を見て，大正～昭和初期と比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があったのかを読み取り，疑問があれば追究すべき課題（生徒自身の「単元を貫く問い」）を設定する。	・「次の場面を探してみよう！」の課題をもとに，戦時体制の政治や経済，社会，文化面の特色に着目させ，そのような変化が生まれた理由を考えさせる。 ・「バスの燃料が木炭であるのはなぜか」「洋服の女性が注意を受けているのはなぜか」「教室に神棚があるのはなぜか」などの追究課題が考えられる。	①第二次世界大戦の時代と大正時代から昭和初期の都市のようすの違いについて，人々の服装や暮らし，学校教育，町の立て看板に書かれた内容などから適切なことがらを読み取っている。 ②工業の発達，軍国主義的な教育やさまざまな社会の統制，新聞が果たした役割など，大正～昭和初期との共通点や相違点を考察し，写真資料などをもとに適切に表現している。 【章の学習を振り返ろう】(103時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の場面で ①女性と社会のかかわりの変化を示している場面を適切に読み取っている。 ②想像図にえがかれているさまざまなことがらとともに，近代後半の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。
３年１学期	**1 第二次世界大戦への道** **◎第二次世界大戦が始まってから，日本は欧米諸国とどのような関係を築こうとしたのだろうか。**	第二次世界大戦はどのようにして始まり，日本と欧米諸国の関係はどう変化していったのか，また，日本とアメリカの交渉はどのように展開したのか，資料などから読み取ってまとめる。	・地図帳の基本図などでドイツとロシア（当時はソ連）にはさまれたポーランドとその周辺地域には平原が広がっていることに気付かせる。 ・日本がドイツと同盟や結んだ時期（タイミング）にも着目させる。	①日本が日独伊三国同盟，日ソ中立条約を結んだ目的を，適切に読み取り，理解している。 ①第二次世界大戦が始まって以降の，日本とドイツ・アメリカ・ソ連との関係とその変化を図などにまとめ，理解している。 ②日本とアメリカの対立が深まっていった理由について，戦争を避けるための交渉を続けていきながらも，それが決裂する経緯をふまえて考察し，「ファシズム」「民主主義」「資源」という言葉を用いて適切に表現している。
３年１学期	**2 太平洋戦争と植民地支配の変化** **◎日本の植民地や占領下の地域では，どのような政策が行われたのだろうか。**	日本の植民地や占領下の地域では，どのような政策が行われ，どのような反応があったのか，インドネシアで使われている教科書の資料などから読み取ったり，考えたりする。	・日本軍が進出した最大の範囲を地球儀上で確認し，ヨーロッパでドイツが占領した範囲と比べ，かなりの広さをもっていたことに気付かせる。 ・日本の具体的な植民地政策を確認し，支配される側である外国の人々の立場から，それぞれの課題を考えさせる。	①日本軍が掲げた「大東亜共栄圏」の考え方やアジアの人々のとらえ方を，資料などから適切に読み取り，理解している。 ②占領下の国や地域で抗日運動が起こった理由を，日本が植民地・占領下で行った政策の内容やねらいをふまえて考察し，適切に表現している。
３年１学期	**3 戦局の悪化と戦時下の暮らし** **◎戦局の悪化によって，日本の人々の生活はどのように変化したのだろうか。** **歴史を探ろう** 戦場となった沖縄	戦争はどのように展開し，それによって人々の生活はどのように変化したのか，写真や資料などから読み取る。	・当時の中学生がどのような生活をしていたか，予想を立てさせたり，小説などで読んで知っていることを発表させたりする。 ・当時の流行語から戦局の変化（悪化していたこと）が読み取れることに気付かせる。	①戦局が悪化したことで行われた政策とその内容を読み取り，理解している。 ①戦局の悪化にともない，学生や小学校に通っていた子どもたちがどのような生活を強いられたか，文章から読み取って理解している。 ①戦場となった沖縄で，多くの住民が犠牲になったさまざまな理由について理解している。 ②多くの国民が戦争の勝利を信じていた理由を，当時の新聞などをもとに考察し，「政府」という言葉を用いて適切に表現している。
３年１学期	**4 ポツダム宣言と日本の敗戦** **◎第二次世界大戦は，どのように終結したのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **日本が戦争を拡大していった理由と，多くの犠牲者を出してしまった理由を説明してみよう。**	太平洋戦争をふくめた第二次世界大戦では，どれだけの犠牲があり，どのような経緯をたどって終わったのか，具体的な事実を整理してまとめる。 ◇日中戦争とアメリカ・イギリスとの戦争のつながり，沖縄戦に関する資料に着目して考えさせる。	・敗戦が告げられたときの人々の反応を予想させた後，日記などに書かれた実際の文章を読ませる。 ・資料から，第二次世界大戦の犠牲者数は，敗戦国である日本やドイツはもちろん，戦勝国であるソ連なども非常に多かったことに気付かせる。	①ヤルタ会談，東京大空襲，沖縄戦，ドイツの降伏，広島・長崎への原爆投下，ソ連参戦，ポツダム宣言受諾など，1945年の世界と日本の動きについて，多くの犠牲者を生んだ出来事を中心に，８月は日付もふくめて表などにまとめ，理解している。 ②第二次世界大戦では，沖縄戦や原爆投下に関する資料などをふまえ，なぜ多くの犠牲者が出てしまったのかを考察し，適切に表現している。
３年１学期	**章の学習を振り返ろう** **二度の世界大戦と日本** **■章の問い■ 「近代化」が進展した日本で，世論が求めたものは何か。**	日本の主な出来事に対して，日本の世論はどのようなものだったかを考え，世論が大きく転換した時期を選び，その理由を説明する。 近代後半とはどのような時代か，自分の言葉で表現したり，意見交換を行ったりする。	・世論の形成には，学校教育を受けて育った大衆が大正デモクラシーなどの影響を受けて，政治や社会の動きに高い関心をもつようになったこと，新聞や雑誌を読む人々が増えたことが背景にあることに気付かせる。 ・近代後半とはどのような時代か，まずは短い言葉で特色を表現させ，歴史的な見方・考え方（時代や年代，推移，比較，相互の関連）を働かせて，そのように表現できる理由を説明させる。	①章の学習を振り返り，日本の主な出来事に対する世論を調べ，歴史的な見方・考え方を働かせて世論が大きく転換した時期を選び，効果的にまとめている。 ②世論の変化に着目するなどして近代後半の日本と世界を大観し，時代の特色を多面的・多角的に考察し，適切に表現している。 ③世論が果たす役割について，現代のあり方と比較するなどして，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

第6章　現代　現在に続く日本と世界 **■章の問い■　現代の日本社会を形づくる画期となった出来事は何か。**		**＜第6章のねらい＞** ①冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。 ①高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。 ②諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ②現代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ②これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ③現代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決させる。		**＜第６章の評価規準＞** ①冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ①高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。 ②諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ②現代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 ②これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③現代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
第1節　敗戦から立ち直る日本 **◇節の問い◇　第二次世界大戦後，日本の改革はどのような目標の下に進められたのだろうか。**		＜「日本の民主化と冷戦下の国際社会」を扱うこの単元のねらい＞ 〇戦後の混乱のなかで，国民の貧しさからの解放の願いや平和と民主主義への期待などを背景に，男女普通選挙の確立や日本国憲法の制定をはじめとして大きな改革が次々に進められ，国民が苦難をのりこえて新しい日本の建設に努力し，現代の日本の骨組みが形成されたことに気付かせる。 〇日本国憲法の基本的原則からその歴史的意義を読み取らせる。 〇戦後の混乱や生活のようす，国民の努力について，身近な地域などの具体的な事例をもとにとらえさせる。 〇冷戦について，国際連合の発足，米ソ両陣営の対立，アジア諸国の独立，朝鮮戦争，その後の平和共存の動きなどを，日本の動きと関連させながら理解させる。		**＜「日本の民主化と冷戦下の国際社会」を扱うこの単元の評価規準＞** ①日本の民主化と再建の過程，冷戦などをもとに，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②諸改革の展開と国際社会の変化に着目して，諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界とのかかわりについて考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③日本の民主化と冷戦下の国際社会について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
３年１学期	**タイムトラベル⑫** **高度経済成長期を眺めてみよう** 1960～70年代ごろのある場面	新幹線が開通した1960年代のあるまちのようすをえがいた想像図を見て，第二次世界大戦期と比べて，どのような点が変化し，どのような共通点があったのかを読み取る。	・「次の場面を探してみよう！」の課題の他，「子どもたちがしている遊びの名前をすべて言えるか」など，現在との違いにも着目させる。 ・「子どもたちが町で遊べる空き地はいつ頃まであったのか」「住宅地にある工場の排煙で公害は起こらなかったのか」などの追究課題が考えられる。 ・地理的分野や公民的分野との関連を重視して，現在の都市との違いを考えさせてもよい。	①高度経済成長期と第二次世界大戦期の都市の共通点や違いについて，建築物や交通機関，子どもたちのようすや人々の役割などから，適切なことがらを読み取っている。 ②工業の発達，家電製品や自動車の普及，新幹線の開通，女性の役割，子どもたちの遊びなど，第二次世界大戦期との共通点や相違点を考察し，写真資料などをもとに適切に表現している。 【章の学習を振り返ろう】(116時限)の「タイムトラベルを眺め直そう！」の場面で ②想像図にえがかれているさまざまなことがらとともに，現代の時代の特色を自分の言葉で適切に表現している。
３年１学期	**１ 敗戦からの出発** **◎敗戦後，日本の人々と社会はどのような状況であったのだろうか。**	敗戦後，どのような改革が行われ，またどのような影響が残ったのか，写真資料などから読み取ってまとめる。	・戦争が終わった後でも深刻な食料不足に悩まされた理由を予想させる。 ・戦争が終結しても，北方領土の人々が移住させられたり，シベリアでの抑留生活を強いられたりと，多くの傷あとや深刻な問題が残ったことに気付かせる。	①ＧＨＱが日本政府に対し，軍国主義の徹底的な排除と民主化を進めるための政策を指示したことを読み取り，理解している。 ①敗戦が海外にいた人々に与えた影響という点から資料などを読み取り，海外の軍人や民間人の中には，戦争が終わった直後に日本にもどることができなかった人々がいたことなどを理解している。 ①ＧＨＱの改革指令を受けて，日本政府がどのようなことを行ったのか，次時の内容もふまえて理解している。 ②「すべての戦後が同時に始まったわけではなかった」という言葉の意味や経緯を考察し，具体的な人々の生活の困難にふれながら，適切に表現している。
３年１学期	**２ 新時代に求められた憲法** **◎新しい日本をつくるために，どのような改革が行われたのだろうか。**	占領下の日本では，どのような改革が行われたのか，資料などから読み取ったり，それらの意義を考えたりする。	・大日本帝国憲法を改正し，日本国憲法が制定されるまでの経緯を読み取らせ，ＧＨＱが日本政府に示した憲法草案では，日本の民間団体などの草案も参考にされていたことに気付かせる。	①この時期に進展した日本の民主化政策（財閥解体，農地改革など）の内容とそのねらいについて，資料から読み取れることをふまえて理解している。 ②戦後の日本が目標としていた国づくりについて，日本国憲法にもりこまれた人々の期待をふまえて考察し，適切に表現している。
３年１学期	**３ 冷たい戦争とその影響** **◎冷戦は，日本や世界各地にどのような影響を与えたのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **敗戦後，日本の改革はどのような目標の下に進められ，国際社会のなかでどのような立場になったのか，説明しよう。**	冷戦は，日本をふくめ，世界各地にどのような影響を与えたのか，朝鮮戦争をおもに取りあげて考えさせる。 ◇ＧＨＱの方針と朝鮮戦争後にそれが転換したことに着目して考えさせる。	・第二次世界大戦の終結からわずか５年後，朝鮮半島がふたたび戦場となったことが，戦後の日本の改革でも方針の変更（占領政策の転換）が行われたことに気付かせる。	①冷戦の影響によってドイツや朝鮮が分断され，西ドイツと東ドイツ，韓国と北朝鮮に分かれたことを理解している。 ②日本が冷戦体制に組みこまれた背景を考察し，平和主義の原則の下，非軍事化が進められていた日本で，自衛隊がつくられた経緯にふれながら，適切に表現している。
第2節　世界の多極化と日本の成長 **◇節の問い◇　復興を遂げた日本は，国際社会でどのような役割を担うようになったのだろうか。**		＜「日本の経済の発展とグローバル化する世界」を扱うこの単元のねらい＞ 〇日本が独立を回復して国際連合に加盟し，国際社会に復帰するまでの経緯を理解している。 〇日本の産業・経済や科学技術の著しい発展とそれにともなう生活の向上や，それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長，および石油危機が政治や経済に及ぼした影響などに気付かせる。 〇沖縄返還，日中国交正常化などを取りあげ，東アジアとの新たな関係や当時の国際情勢について理解させる。		**＜「日本の経済の発展とグローバル化する世界」を扱うこの単元の評価規準＞** ①高度経済成長，国際社会とのかかわりなどをもとに，日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②政治の展開と国民生活の変化に着目して，国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③日本の経済の発展について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
３年１学期	**１ 日本の独立と世界の動き** **◎独立を回復した日本は，どのような課題を残しながら国際社会に復帰したのだろうか。** 歴史を探ろう 日本の領土画定と近隣諸国	独立を回復した日本は，どのような課題をかかえるようになったのか，条約の内容などを読み取ったり考えたりする。	・講和の方法として，ソ連などをふくむすべての交戦国と全面講和する道と，講和が可能な西側の国々と単独で講和する道の二つがあったことに気付かせる。 ・日本の国際連合加盟が実現し，国際社会に復帰できたものの，ソ連との間に北方領土問題が残されたことに気付かせる。	①サンフランシスコ平和条約で決まった内容を適切に読み取り，理解している。 ②独立を回復し国際社会に復帰する過程で，日本に残された課題を考察し，適切に表現している。 ②日米安全保障条約の改定をめぐる安保闘争について考察し，賛成と反対，それぞれの意見を，根拠を明確にして適切に表現している。
３年１学期	**２ 冷戦下での日本とアジア** **◎アメリカとソ連の対立は，日本を含めた東アジアの国際関係にどのような変化を与えたのだろう。**	ベトナム戦争により，日本をふくめた東アジアの関係はどのように変化したのか，沖縄の復帰や韓国・中国との関係に着目し，資料などから読み取ってまとめる。	・アメリカにおけるベトナム反戦運動や沖縄における復帰運動，基地反対運動の意義を考えさせる。 ・1970年代の出来事を中心に，年表でまとめさせる。	①復帰前と復帰後で沖縄はどのように変化したか，また，変化していないことは何かを具体的なことがらをもとに理解している。 ②日本と韓国・中国との国交正常化が進められた背景と，残された問題点について考察し，適切に表現している。

３年１学期	**３ 経済成長による日本の変化** **◎経済の急速な発展は，私たちの生活にどのような影響を与えたのだろうか。**	日本はどのような問題をのりこえて，経済成長を進めてきたのか，写真やグラフなどの資料から読み取ったり考えたりする。	・高度経済成長によって国民生活が向上する一方で，公害による深刻な被害や環境破壊，過疎過密の問題が起きたことにも気付かせる。	①経済成長期に現われてきた社会問題として，公害問題や貿易摩擦の問題などがあることを理解している。 ②高度経済成長によって，日本の経済や産業にどのような変化があったかを考察し，適切に表現している。 ②石油危機を経験して，行われるようになった対策（省エネルギー技術の開発，原子力発電）をいくつかあげ，それらの意義について考察し，適切に表現している。
３年１学期	**４ 日本の社会と国際関係の変化** **◎日本が経済大国になったことは，日本の社会や国際社会にどのような影響を与えたのだろうか。**	日本が経済大国になったことで，どのような影響が日本の社会や国際社会に及んだのか，写真やグラフなどの資料から読み取ったり考えたりする。	・バブル経済が起こってしまった理由を「銀行」「土地」「株」という言葉に着目させて，読み取らせる。 ・「政府を小さくする政策」の意味を考えさせる。	①1980年代に日本国内で行われた具体的な改革の例を，文章から読み取らせる。 ②日本が経済大国となったことで，国際社会に与えた影響にはどのようなものがあったかを考察し，適切に表現している。
３年１学期	**５ 大衆化・多様化する戦後の文化** **◎戦後復興期から高度経済成長期にかけて，人々の生活や文化はどのように変化したのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **独立を回復した日本は，国際社会のなかでの立場を政治的・経済的にどのように変化していったか，説明しよう。**	戦後復興期から高度経済成長期にかけて，人々の生活や文化はどのように変化したのか，社会の変化や文化を生み出した担い手の考えを中心に調べてまとめる。 ◇政治については国際連合への加盟や各国との関係などについて，経済については政府開発援助（ＯＤＡ）の推移を示すグラフのデータなどに着目して，考えさせる。	・戦後復興期から高度経済成長期の変化で，どのようなことが深く印象に残っているかを，身近にいる人々に対して年齢を考慮しながら聞き取り調査をさせて，当時の時代背景との結びつきを考えさせる。	①高度経済成長期の「三種の神器」の名称（電気洗濯機，電気冷蔵庫，白黒テレビ）とその影響（家事の時間短縮と余暇の時間の増加）について，文章やグラフなどから読み取り，理解している。 ①戦後復興期や高度経済成長期を代表する文化人のうち，教科書で紹介されている人物を調べてレポートにまとめ，理解している。 ②戦後復興期と高度経済成長期で，マスメディアはどのように変化したか，映画とテレビの登場などに着目して考察し，適切に表現している。
第3節　これからの日本と世界 **◇節の問い◇　冷戦終結後，日本と世界はどのように変化したのだろうか。**		＜「日本の経済の発展とグローバル化する世界」を扱うこの単元のねらい＞ ○世界規模での米ソ両陣営の対立が終わったことやその影響に気付かせ，冷戦終結後の国際協調の平和外交の推進や開発途上国への援助などもふかえ，国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解させるとともに，公民的分野の学習に向けた課題意識をもたせる。 ○冷戦終結後も国際社会には，民族や宗教をめぐる対立，国家を超えた地域統合，地球環境問題とその取り組み，資源やエネルギーをめぐる課題，日本と近隣諸国との間の領土をめぐる問題，日本人拉致問題など，主権や人権，平和などさまざまな課題が存在していること，それらを解決するためのさまざまな人々の努力が重ねられていることに気付かせる。	**＜「日本の経済の発展とグローバル化する世界」を扱うこの単元の評価規準＞** ①冷戦の終結をもとに，国際協調の平和外交の推進，開発途上国への援助などもふまえ，国際社会においてわが国の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②政治の展開と国民生活の変化に着目して，国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③グローバル化する世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
３年１学期	**１ グローバル化が進む世界** **◎冷戦の終結後，世界ではどのようなことが進展したのだろうか。**	どのようにして冷戦が終わり，その後世界ではどのようなことが起こったか，写真資料などから読み取る。	・グローバル化によってもたらされる良い影響だけでなく，悪影響についても考えさせる。 ・公民的分野の学習に向けた課題意識をもつことができるよう配慮する。	①冷戦後に起こった主な紛争・戦争について，写真資料などをもとに適切に読み取り，理解している。 ②グローバル化に伴って起こった出来事について，地域統合の動きや地域紛争の激化などをもとに，経済面と国際政治面から考察して，適切に表現している。
３年１学期	**２ 激変する日本とアジア** **◎冷戦終結後，日本国内の政治・経済やアジア諸国との関係はどのように変化したのだろうか。**	1990年代初めや平成の時代の日本では，政治と経済，東アジアとの関係の面でどのような変化が起こったか，写真やグラフの資料から読み取る。	・「～の終わり」というかたちで表現できることがらを見つけさせ，その意味を読み取らせる。 ・日本と東アジアの国々との間の諸問題（拉致問題など）に対して，関係改善に向けてのさまざまな努力が続けられていることに気付かせる。	①冷戦後に起こった日本での政治面と経済面の大きな出来事（「55年体制」の終わりとバブル経済の崩壊）を文章から読み取り，それぞれの経緯を適切にまとめ，理解している。 ②財政の赤字が増加する理由について，高齢化が進んでいることに着目して考察し，社会保障費が増大していることなどを適切に表現している。
３年１学期	**３ 国際社会におけるこれからの日本** **◎よりよい未来に向けて，私たちは歴史から学んだことを，どのように生かしていくことができるだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇** **冷戦終結後には，どのような課題や社会の変化が起こったのか，一つの出来事を選びその原因から説明してみよう。**	日本や世界が直面している課題について，歴史から学んだことを生かして，よりよい未来をつくるための取り組みを考え，発表する。 ◇政治，経済，国際関係などの面から，解決すべき大きな課題であると考えられる出来事を選ばせ，「持続可能な社会」の実現を視野に入れて考えさせる。	・社会の変化のスピードが早まっていることについて，情報通信技術や人工知能が果たす役割の大きさに気付かせる。 ・エネルギーの安定供給や経済性，環境への影響や安全性のあり方について，発電の方法ごとにメリットやデメリットがあることに気付かせる。	①全世界に共通している課題と，日本の他，特定の国や地域が直面している課題について，今まで日本が国際社会のなかで取り組んできたことにもふれながら，表などで適切にまとめ，理解している。 ②直面している課題のうちの一つ（人口問題，環境問題，エネルギーの安定供給の問題など）を選び，それに取り組むためにはどのようにしたらよいか，歴史で学んだことを生かして考察し，適切に表現している。
３年１学期	**章の学習を振り返ろう** **現在に続く日本と世界** **■章の問い■　現代の日本社会を形づくる画期となった出来事は何か。**	日本社会を形づくる画期となったと考えられる出来事を取り上げて重要度が高い順に並べ，グループで発表し合い，それぞれの考えを深めさせる。 現代とはどのような時代か，自分の言葉で説明したり，意見交換を行ったりする。	・現代を三つの時期に分け，経済や産業，政治や制度，文化や生活，国際社会の四つの観点から画期を考えさせる。 ・現代とはどのような時代か，まずは短い言葉で特色を表現させ，歴史的な見方・考え方（時代や年代，推移，比較，相互の関連）を働かせて，そのように表現できる理由を説明させる。	①章の学習を振り返り，日本社会を形づくる画期となったと考えられる出来事を選んで，歴史的な見方・考え方を働かせて重要度が高い順に並べるなど，効果的にまとめている。 ②日本社会を形づくる画期となったと考えられる出来事に着目するなどして，現代の日本と世界を大観し，時代の特色を多面的・多角的に考察し，適切に表現している。 ③現代の日本社会の形成過程をもとに，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
３年１学期	**多面的・多角的に構想する　未来に向けて**	社会的な関心からテーマを決め，現代にいたるまでの歴史的な経緯を整理し，さまざまな角度から課題解決への鍵を探って，未来へのメッセージをまとめる。	・歴史的な経緯や解決策については，歴史的な見方・考え方（比較，影響，推移など）を働かせて整理できるようにする。 ・公民的分野の学習へ向けた課題意識をもつことができるようにする。	②これまでの歴史学習をふまえ，歴史と私たちのつながり，現在と未来の日本や世界のあり方について，適切な課題を設定し，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現している。